

所管事務調査中間報告書

議会運営委員会

1 調査事項

(1) 議会改革の調査に関すること（平成25年5月24日承認議決）

2 調査期間及び調査地

(1) 調査期間 平成25年7月24日から26日まで 3日間

(2) 調査地 登別市、豊浦町、北海道町村議会議長会

3 調査結果

◎ 登別市

(1) 調査地 登別市議会

(2) 調査日 平成25年7月24日

(3) 説明者 登別市議会 天神林美彦議長ほか

(4) 視察内容 開かれた議会をめざして 登別市議会の「議会改革」

【市の現況】

登別市の人口は約5万1千人。有名なのは年間350万人を超える観光客が訪れる登別温泉である

【市議会の現況】

議員数は20名。委員会は議会運営委員会、総務・教育委員会、生活・福祉委員会、観光・経済委員会、議会だより編集委員会、予算・決算委員会で構成されている

①議会のパソコン利用について

- ・各議員にパソコンを貸与
- ・議場でインターネットを活用しての質問が可
- ・ペーパーレスを目指して会議録・例規集のCD配布、予算・決算のデータ配布などを行っている
- ・議場へ個人所有のパソコンの持込みは可（特に規定は設けていない）
- ・一般質問時にモニターを利用することを認めている（操作は自分で

行う)

- ②「議会フォーラム」の開催 ～ 議会基本条例第2条において、市民との協同による議会活動の展開を図るための「市民との議論の場」として定めている
- ・各年度1回、2月に実施している
 - ・議員は自分の意見で発言する
 - ・参加者は減少している（テーマの選び方の難しさ、マンネリ化）
 - ・続けていくことが大切
 - ・会場の席は参加市民が向き合う配置にしている

◎ 豊浦町

- (1) 調査地 豊浦町議会
(2) 調査日 平成25年7月25日
(3) 説明者 豊浦町議会 村井洋一議長、世戸宏造副議長、工藤敏和委員長ほか
(4) 視察内容 議会報告会の実施状況について

【町の現況】

豊浦町の人口は約4.5千人。基幹産業はほたて養殖を中心とした漁業である

【町議会の現況】

議員数は8名。委員会は、議会運営委員会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、広報広聴常任委員会で構成されている

①議会報告会の実施について

議会基本条例第4条において、「議会報告会を少なくとも年1回開催して、議会の説明責任を果たすとともに、これらの事項に関して町民の意見を聴取して議会運営の改善を図るもの」として定めている

- ・主催は全議員参加の広報広聴常任委員会。4回／年、開催
- ・懇談会で町民から出た要望はとりまとめして担当課へ連絡する
- ・町民の参加者数は減少している
- ・周知方法はポスターの掲示、インターネットなどである

- ・町民（農家、漁師、会社員）の日程調整が大変
- ・課題として開催方法（会場数、日数、時間帯など）、議題とする内容、運営方法、意見・要望等の精査とフィードバックなどがある

◎ 札幌市

- (1) 調査地 北海道町村議会
- (2) 調査日 平成25年7月26日
- (3) 説明者 北海道町村議会 村川寛海事務局次長
- (4) 視察内容 議会改革の課題と今後の方向性について

【町村議会の問題点】

- ①議員のなり手がいなくなっている → 議員報酬を増やす
- ②議会の活性化が町民の生活アップにつながるのか。議会の役割りが町民に評価されづらい
- ③議会報告会
当初は陳情型が多いが、建設的な話し合いの場に成長していく必要がある
継続が大切。当初は町民から追及を受けることもある
- ④議会運営の問題点
 - ・討論をする必要がある
 - ・議員の発言が長すぎる。簡単、明瞭に発言する能力を持つ必要がある

◎まとめ

【議会広報・広聴会について】

- ・テーマの選定が大切である。議会からの一方的な報告でなく、町民と一緒に建設的なまちづくりとしての場を目指す必要がある
- ・会場の席の配置を工夫して話し合いをし易い雰囲気づくりをする
- ・継続して実施することが大切
- ・議会基本条例を制定したことが議会活動に制約を与えることがあるので条例の制定より実際の議会活動の充実を進めることが大切である